

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 17

幕の内側ですべてを含む天のキリストを通して、
営所の外で本物の召会生活の中で、
絶えず賛美のいけにえを神にささげる

聖書：ヘブル8:1-2, 7:25-26, 13:8-15

I. 「ですから、彼を通して、絶えず賛美のいけにえ、すなわち、御名を言い表す唇の実を、神にささげようではありませんか」——ヘブル13:15：

A. 「彼を通して」とは、ヘブル人への手紙で明らかにされたすべてを含む天のキリストを指しています：

1. キリストは、御子（1:2）、神の栄光の輝き、神の本質の明確なかたち（3節）、長子（6節）、人の子（2:5-6）、救いの創始者（10節）、使徒（3:1）、家を建てる方（4-6節）、安息日の安息（4:9）、真のヨシュア（8節）、先駆者（6:20）、聖所の奉仕者（8:2）、新しい契約の仲保者（9:15）、信仰の創始者、また完成者（12:2）、羊の大牧者（13:20）です。
2. 天のキリストは王なる神聖な大祭司であり、彼はわたしたちに必要なものは何であれ供給し、わたしたちを極みまで救うことができます——8:1, 7:11, 25。
3. キリストは、旧約のすべてのささげ物の終結、成就、置き換え、新約の実際です——10:5-10。
4. ヘブル人への手紙に啓示された天のキリストは、現在のキリスト、すなわち、今のキリスト、今日のキリスト、天の御座に座しているキリストであり、彼はわたしたちの日ごとの救い、瞬間ごとの供給です——8:2, 4:14-15, 7:25。

B. ヘブル人への手紙第13章15節のlet usの「（わたしたちに）us」とは、信者たち、キリストの多くの兄弟たちを指しますが、彼らは召会の中において、召会生活を実行しています：

1. ヘブル人への手紙に啓示されている召会にはさまざまな面があります：
 - a. 召会は神の多くの子たちの生ける構成体であり、キリストの復活において生み出されたキリストの多くの兄弟たちです——2:10-12。
 - b. 召会はキリストとの団体のパートナーという関係にあります——3:14, 1:9。
 - c. 召会は、神の家（3:4-6）、神の群れ（13:20-21）、神の揺り動かされない王国（12:28）です。

2. ヘブル人への手紙第13章が示しているように、人の徳とキリストの経験は召会生活にとって必要です——1-19節：

a. これらの徳には、兄弟愛、もてなすこと、苦難を受けている肢体たちを思いやる事が含まれています——1-3節。

b. 真の揺るぎない召会生活に対して、わたしたちは変わることのないキリストにしがみつき、恵みであるキリストを享受する必要があります——8-10節。

II. 召会生活においても、わたしたちの私生活においても、わたしたちは賛美のいけにえを神にささげる必要があります——ヘブル2:12後半、13:15：

A. いけにえとは、人自身には損失であるが、神には益であるものです。

B. 召会の中で、復活したキリストは父なる神に賛美の歌を歌います——2:12後半：

1. これは、召会の集会における、父の多くの子たちの内側での長子による御父を賛美することです——10, 12節。

2. わたしたち、神の多くの子たちが召会として集会して御父を賛美するとき、わたしたちが賛美することにおいて長子が御父を賛美します。彼はわたしたちの賛美を通して、わたしたちの内側で、わたしたちと共に賛美します——12節後半。

C. 「ですから、彼を通して、絶えず賛美のいけにえ……を、神にささげようではありませんか」——13:15：

1. わたしたちは召会生活の中で、変わることのないキリストを恵みとして享受し、宗教の外側で彼に従うので、彼を通して、霊のいけにえを神にささげるべきです——8-10, 13, 15：

a. 召会の中で、わたしたちはキリストを通して、絶えず賛美のいけにえを神にささげるべきです——15節。

b. 召会の中で、彼とわたしたち、わたしたちと彼は、ミングリングされた霊の中で共に御父を賛美します——2:12後半. I コリント6:17：

(1) 彼は命を与える霊として、わたしたちの霊の中で御父を賛美し、わたしたちは、わたしたちの霊によって、彼の霊の中で御父を賛美します——15:45後半. ヨハネ4:24. エペソ2:18. ユダ20-21。

(2) これは、わたしたちが彼を通して神にささげることができる最上で最高のいけにえです——ヘブル2:12後半. 13:15. 参照、ホセア14:1-3。

2. わたしたちはそしりと苦難を経験するとき、絶えず賛美のいけにえを神にささげるべきです——ヘブル13:12-14節。

3. わたしたちが経験し享受したキリストを通して、わたしたちは絶えず賛美のいけにえを神にささげる必要があります——ヘブル1:2-3. 2:9, 17. 3:1. 4:14. 6:20. 7:25. 8:1. 12:2. 13:8, 15：

a. 御父に対する真の賛美は、わたしたちが日常生活においてキリストを経験し、享受することから出て来ます——エペソ3:8, 17前半. ヨハネ4:24。

b. わたしたちがキリストを経験し享受することから出て来る賛美は、御父に対する最上の賛美です——詩45:1-2. 145:1。

III. わたしたちが本物の召会生活において、すべてを含む天のキリストを通して、絶えず賛美のいけにえを神にささげようと思うなら、幕の内側に入って、栄光のキリストを

享受し、營所の外に出て、イエスへと行き、苦難を受けたイエスに従う必要があります——ヘブル6:19. 13:11-14:

- A. 至聖所、十字架の道（イエスのそしりを担い、營所の外に出て、イエスへと行くことで表徴される）、揺り動かされない王国は、ヘブル人への手紙で述べられている三つの重要な事柄です——6:19. 13:13. 12:28。
- B. 至聖所とその豊富な供給は、わたしたちが十字架の狭い困難な道を取ることができるようにし、この十字架の道は、わたしたちを實現における王国へと導き入れ、栄光の褒賞を得させます——10:35。
- C. 栄光のキリストを享受し、苦難を受けたイエスに従い、絶えず賛美のいけにえを神にささげましょう。

© 2018 *Living Stream Ministry*